

6月11日（火）5校時に本校体育館において第1学年を対象に「**人権教室**」が開かれました。これは、旭川地方法務局が行っている人権啓発活動の一環として、毎年市内小・中学校で人権啓発ビデオ教材などを使って、人権擁護委員に授業を行っていただいています。

今回のビデオ教材は、過年度「**人権作文コンクール**」で入賞した作品を「**リスペクト アザーズ（他の人を尊敬・尊重しましょう）**」というタイトルでドラマ仕立てにしたものです。

筆者は、アメリカで生まれ11年間過ごし、現在日本で過ごしている中学1年生。生まれたときから「**リスペクト アザーズ**」を周りの大人や友達からずっと聞かされて育ち、それが当たり前だと思っていたが、日本の学校ではそれを感じることができず思い悩むというストーリーです。

目上の人や偉人、スポーツ選手などを指して「**〇〇さんをリスペクトする**」という言葉はよく聞きますが、「**自分以外の人達すべてをリスペクトするのが当たり前**」という言い回しは日本ではあまりなじみがありません。この「**リスペクト アザーズ**」の考え方が私たち皆の根底にあれば、いじめで悲しい思いをする人はずいぶんと少なくなると思います。そしてこの考え方は私たち大人が子どもたちにしっかりと伝えていくことが必要だと感じました。

講義して下さった人権擁護委員の方々から、「**しっかりと話を聞き、真剣に考え、自分の思いをきちんと発表できる生徒達ですね。**」とお褒めの言葉を頂きました。また、退場するとき皆さんから大きな拍手をもらったことがうれしかったそうです。来校し、お話し下さった人権擁護員のお二人と法務局の方に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

